

ひょうご企業探訪

2019 学生が聞く

7

タンク半世紀、遊具で生かす

プラスチック製の工業用、農業用タンクなどを半世紀にわたり生産。金型に原料を入れて回転しながら加熱・溶融し、金型内部に附着させて製品を成形する「回転成形」の技術を持つ国内有数の企業だ。約10年前から「脱容器」を掲げカラフルな滑り台などの遊具分野に参入、事業拡大を目指す。兵庫県立大の山口隆英教授のゼミ生が横山俊介取締役(36)を訪ねた。

―会社の歴史は。

「当初はプール浄化装置や噴水を販売、広島平和公園の大噴水施工にも携わりました。しかし、噴水の需要は大きくなり撤退。海外の回転成形技術を商社に紹介され、当時珍しかったプラスチックに着目して導入しました。軽くて丈夫なオレンジ色の液体運搬用タンクが受け、農家の水やり用

スイコー(尼崎市)

横山 俊介取締役(36)



横山俊介取締役(右)に話を聞く
兵庫県立大3年の小森菜々子さん
ニ崎市西向島町、スイコー

費が割に合わず、お客さんの近くに工場を構えるのが理想です。阪神・淡路大震災や北海道、熊本の地震を経験。被災地に飲み水やトイレの水を運ぶため、当社

「北海道や九州にもあります。タンクを運ぶのは空気を運ぶようなもの。運送

「全国に工場を構える。」「北米では回転成形品全体の20%が遊具。海外の大きな市場をみて、日本でもとを考えました。公園や幼稚

「なぜ遊具に参入。」「北米では回転成形品全体の20%が遊具。海外の大きな市場をみて、日本でもとを考えました。公園や幼稚

「国内向けに滑り台と、壁を上るロトウォールで年間約1千台を出荷し、売り上げは相手先ブランドによる生産(OEM)も含めて約1億円。売り上げを5年で3倍に伸ばすのが目標です。米国や中国製品に比べて納期が半分で、品質も良い。海外品が大半を占めます。ポリエチレン製などの遊具を置き換えたいと考えています」

(まとめ・大島光貴)



スイコーの製品群

メモ

1963年設立。2000年現社名に。社員数約130人。18年8月期売上高約38億円。19年春採用4人(大卒1人)、20年春採用予定は3人(同ゼ口)。尼崎市西向島町86。☎06・6412・5851



エムラボ